

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 : シーマン株式会社

企業 URL : <https://www.sheen-man.co.jp/> (ハイパーリンクを挿入しておいてください)

※ A4 2面（裏表）一枚に、1機種の情報が入るよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 居室 トイレ 個室 個室脱衣所 特殊浴槽 特殊浴槽脱衣所
食堂 多目的ホール（共有リビングスペース） 看護・介護ステーション リハビリ室
会議室 事務室 送迎車 その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに1つに○をつけてください

- 見守り支援 移乗支援 移動支援 入浴支援 排泄支援 食事支援
リハビリ支援 介護記録等 介護業務支援 居室環境等管理支援 ヘルスケア
○その他（ ベッド上のケア ）

3 製品／サービスの特徴

体位変換や寝位置の補正時に、都度、福祉用具を敷きこむケア

に対し、

本製品は、ケア毎の敷き込みが不要となるシートで、身体への接触回数が少ないため、皮膚が脆弱、骨折しているなどデリケートなケアが必要な被介護者にも使用

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 介護者の身体的負担軽減 介護者の精神的負担軽減 介護スタッフ間の連携強化
被介護者の安全確保 被介護者の QOL 向上 被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
人材育成・定着促進 周辺業務の効率化・省力化 業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名 : ポジショニングシート

製品／サービスの URL : https://www.sheen-man.co.jp/product/product-cat05/positioning_sheet/

製品／サービスの写真・動画 ※1機種の写真や動画 URL を載せてください



寝位置の補正



体位変換

<https://www.youtube.com/watch?v=qZ8nuQUoPGQ>

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

本製品は、マットレスの上に敷いたまま使用する滑る機能を持つシートで、ケア毎に被介護者の身体の下に敷きこむ必要がありません。身体に触れる回数を減らすことで、被介護者と介護者の身体的な負担を減らすケアを提供します。また、被介護者の表情が見える距離を保ったケアもサポートします。さらに、介護用リフトとの併用により、ベッド上のケアにも利用できます。想定価格: マットレスカバーロング+セカンドシート 4方向ショートの組み合わせの定価¥48,000（税抜き）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 介護者（施設ケア） 介護者（在宅ケア） 被介護者（施設ケア） 被介護者（在宅ケア）
 リハビリ利用者（集団） リハビリ利用者（個別） 管理者（スタッフ管理） 管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

- 想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
 被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
 被介護者の状態次第にて利用可能 → 下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、
迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

介護保険制度 要介護認定

- 要支援 1、2 要介護 1 要介護 2 要介護 3 要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

- 自立 ランク J（生活自立） ランク A（準寝たきり）
 ランク B（寝たきり/座位保つ） ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

- 自立 ランク I ランク II（a・b） ランク III（a・b） ランク IV ランク V

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

ポジショニング時や体位変換時には被介護者から目を離さないでください。被介護者がベッドから滑り落ちないようにご注意ください。介護者がベッド両脇にいない場合は、ベッドサイドレールを上げてください。
洗濯時の柔軟剤の使用は避けてください。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

介護用リフトを併用することで側臥位姿勢がリストにより保持されるため、介護者は一人でも両手を使ったおむつ交換や創傷ケアなどを実施しやすくなります。また端座位姿勢や寝位置の補正は、リフトの併用によっても支援できます。



おむつ交換・創傷ケア



寝位置の補正



端座位姿勢



体位変換